

JRの責任産別として
組織と運動を磨き、
すべての関係者との対話を通じて
強しなやかなJR産業を築こう!

<https://www.jr-rengo.jp>



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部20円(但し組合費に含む)

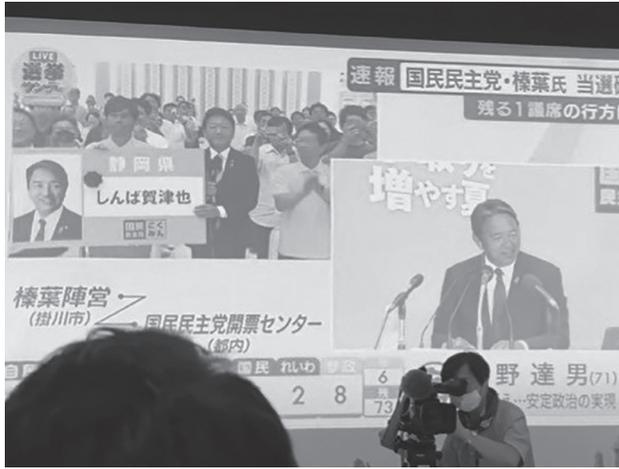
facebook
JR連合

(旧twitter)
JR連合

●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬



多くの支持者に囲まれ万歳をする長浜参議院議員



党本部の開票センターから地元の支持者とリモートでつなぎ当選の御礼を述べる榊葉参議院議員 (YouTube 公開情報より)



当選を決め、JR四国労組の仲間と引き続き連携を誓う広田参議院議員



JR西労組の仲間と当選を喜ぶ森本参議院議員

第27回参議院議員選挙

議員との一層の連携で

政策実現をめざす

議員懇所属議員が大健闘
最重点候補・重点候補9人が当選

7月20日投票の第27回参議院議員選挙において、JR連合は、国会議員懇談会所属の最重点候補「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の重点候補を中心に、各単組の最大限の支援により選挙戦を闘い抜き、最重点候補4人、重点候補5人が見事に当選を果たした。

改めて、ご支援・ご尽力いただいた組合員・家族に御礼申し上げます。

5期目の当選を果たしたJR連合国会議員懇談会の会長を務めるしんば賀津也氏は、静岡県選挙区(定数2)において、この間の実績と成果を訴え、選挙戦全般を通じて有権者の信頼を広く得て、前回(2019年)の45万票から75万票と得票数を大きく伸ばし、圧倒的な強さでトップ当選を果たした。

参議院副議長を務める長浜ひろゆき氏は、千葉県選挙区(定数3)において、新興勢力の台頭で接戦となったにも関わらず、盤石な支持基盤のもと、堂々当選を果たした。

徳島県・高知県選挙区(定数1)に無所属で挑んだ広田一氏は、与党新人との一騎打ちの状態となったが、結果として投票総数の4割を超える得票を得て、4回目の当選を勝ち取った。

【開票結果】

《最重点候補》(国会議員懇談会所属)

当選	しんば 賀津也	国民民主党	静岡県	752,187 票
当選	長 浜 ひろゆき	立憲民主党	千葉県	500,096 票
当選	森 本 しんじ	立憲民主党	広島県	303,928 票
当選	広 田 一	無 所 属	徳島県・高知県	264,891 票

《重点候補》(21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属)

当選	浜 野 よしふみ	国民民主党	比例代表	電力総連
当選	田 村 まみ	国民民主党	比例代表	UAゼンセン
惜敗	もりや たかし	立憲民主党	比例代表	私鉄総連
当選	小 沢 まさひと	立憲民主党	比例代表	J P 労組
当選	勝 部 けんじ	立憲民主党	北海道	北海道教職員組合
当選	ながえ 孝子	無 所 属	愛媛県	元アナウンサー
惜敗	野 田 くによし	立憲民主党	福岡県	元八女市長

第27回参議院議員選挙結果を踏まえたコメント

2025年7月25日

第27回参議院議員選挙において、推薦候補の必勝に向けてご支援ご尽力いただいた組合員や家族の皆さまに御礼申し上げます。また、献身的に奮闘されたすべての関係者にも敬意を表する。

昨今の国会における情勢は、昨年の衆議院議員選挙において与党が大きく議席を失い、過半数割れの状況の中、立憲民主党や国民民主党が存在感を増したことにより、昨年12月には、28年ぶりに政府の予算案が国会審議で修正され、補正予算が成立したほか、年取の壁の見直しをめぐっても、野党の意見が反映されるなど、近年にない動きがみられている。本選挙は、私たちの政策実現にとって効果的な流れを確かなものにするためにも、分水嶺ともいえる非常に重要な選挙であった。

今回の選挙結果は、与党が参議院においても過半数を下回ることとなり、あらためて国民が与党に「NO」を突きつけた形となった。一方、新興勢力が台頭し、既存政党への求心力の低下もみられた。また、投票日が三連休の中日に設定されたこともあり、期日前投票は国政選挙で過去最多であったほか、投票率も前回の参院選より6.5ポイント上昇し58.5%であったが、決して高い水準とは言えず、より一層の投票行動の喚起が課題として残った。

JR連合は、各単組からの推薦に基づき、連合の方針およびJR連合の掲げる運動理念や政策に賛同する人物本位の候補者を推薦のうえ、全国で当選に向けた取り組みを展開し、それを通して組織強化につなげてきた。最重点候補者では、JR連合国会議員懇談会の会長である榊葉賀津也氏(静岡県)をはじめ、幹事である長浜博行氏(千葉県)、森本真治氏(広島県)、広田一氏(徳島県・高知県)が全員当選するとともに、重点候補者では「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する、比例区の浜野喜史氏、田村麻美氏、小沢雅仁氏、愛媛県の永江孝子氏が当選を果たした。これは組織が一丸となって取り組んできた成果である。しかしながら、自動車連絡会と連携し、バスを中心とした交通政策に警鐘を鳴らし続けた比例区の森屋隆氏と、地元で根差した活動を通じてJR九州労組を支え続けた野田国義氏が惜敗となったことは痛恨の極みである。

今回の選挙戦では、残念ながら排外主義的な言論が散見された。社会の分断を深刻化させるようなことはあってはならず、政治は丁寧かつ包摂的な合意形成のうえで行われるべきものである。そのためにも、政権を担い得る責任ある野党勢力の結集を通じた、緊張感ある国民目線の政治を実現させなければならない。JR連合は、さらにプレゼンスを高めることを通じて、これまで与党内で実質的に決められていた国の政策方針や予算の配分構造、税制や整備新幹線などの重要課題の解消を図り、JR産業の持続的な成長させていく決意である。そして、引き続き組織内で政治活動の意義を浸透させ、各種選挙における取り組みを高度化させていくこととする。

以上



「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ



公式キャラクター
ビットくん

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生活協同組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

JR各単組で2025年度の運動を開始

JR東海ユニオン第34回定期大会

組織に変化を生み出し さらに強化する運動方針を確立

JR東海ユニオンは7月4日、名古屋市内において、第34回定期大会を開催し、新体制を確立するとともに向こう1年の運動方針を決定した。冒頭、執行部を代表して尾内裕昭中央執行委員長（JR連合副会長）は、「将来にわたる会社の発展と組合員の幸せ実現に向け、突進しよう」と力強く呼びかけた。

JR連合からは上村良成

会長が参加し、多岐にわたる主要課題に触れ、それぞれの課題を運動させて解決していくことの重要性を訴えた。議事では、執行部より運動方針が提起され、24人の代議員等から、安全、業務課題、各取り組みに関する発言に加え、組織強化に資する新たなプラットフォームの設立や次期中期目標への準備に対する意見・要望が出された。総括答弁に立つ



JR東海ユニオン第34回定期大会

た今井孝治書記長は、「労働組合の意義・価値・機能・可能性を共有し、変化を乗り越え、さらに強化させていこう」と決意を述べ、すべての議案が採択された。本大会では、長年ユニオン運動を牽引してきた尾内氏をはじめ7人の役員が退任した。新たに鎌田隆司中央執行委員長をはじめとする新執行部を確立し、団結がなばらうで締めくくった。

《新三役》
中央執行委員長 鎌田隆司
中央執行副委員長 半田健介
書記長 相良夏樹

JR九州労組第34回定期大会

働く仲間のための労働組合という本来の役割を果たす

JR九州労組は7月9日、福岡市内で第34回定期大会を開催し、向こう1年間の運動方針を決定するとともに、運動を牽引する新執行部を選出した。執行部を代表して挨拶した吉田祥司中央執行委員長（JR連合副会長）は、「安全の確立」「組織強化・活性化と拡大」「労働条件の維持・向上」「政策・政治活動」について所信を述べ、未来志向で課題に向き合い組合員と家族のための運動に邁進しようと呼びかけた。

JR連合からは今井孝治

策局長が参加した。代表して挨拶した今井事務局長は、直近のJR連合運動の取り組みやJR労働界の情勢を報告した。議事では、執行部が提起した運動方針案等に対して20人の代議員の発言により方針が補強された。執行部からの答弁の後、大久保浩書記長は「健全な労使関係を基盤に多様性を

認め合い、誰もが生き生きと活躍できる環境を構築していきたいかなければならない」と集約した。役員改選では、青木幹雄氏、土橋千尋氏の両氏が中央執行委員を退任。再任された吉田中央執行委員長をはじめとする14人の新執行部が選出された。最後に、「組合員や家族の明るい未来を実現するため、積極果敢に取り組む」

《新三役》
中央執行委員長 吉田祥司
中央執行副委員長 鎗光俊勝
書記長 大久保浩



JR九州労組第34回定期大会



イーストユニオン第14回定期大会



貨物鉄道労働第41回定期大会

貨物鉄道労働第41回定期大会は7月14日、新大阪丸ビルにおいて第41回定期全国大会を開催し、2025年度の運動方針を満場一致で決定した。述べて。政策課題のうち線路使用料に関するJR各社との協定更新についても取り組む決意を示し、人口減少下において、臨機応変に変わらねばならないと訴えた。本大会では、J

JR西労組は7月16日、福岡市内において第37回定期中央本部大会を開催した。代議員・傍聴など約5000人の参加のもと、2025年度の運動方針を満場一致で決定した。

来賓には、藤田桂三連合福岡会長、古賀栄一福岡県交運労協議長、服部誠太郎福岡県知事、三日月大造滋賀県知事、泉健太JR連合国会議員懇談会副会長、浜野喜史参議院議員などを迎

え、JR連合からは今井事務局長と宮野企画局長が参加した。上村良成中央執行委員長（JR連合会長）は、主催者挨拶で「世界一安全な鉄道」をめざしてきたが、昨今危険な事象が相次いでいる」と

最後に、羽野中央執行委員長が挨拶を述べ、長年にわたりJR西労組運動を牽引してきた上村氏が退任し、羽野中央執行委員長をはじめとする新執行部が選出された。

《新三役》
中央執行委員長 羽野敦之
中央執行副委員長 川原孝義
中央執行副委員長 福本英治
書記長 川端準一

JR東日本で働くすべての仲間の総結集を実現する

イーストユニオンは7月13日、都内において第14回定期大会を開催し、新体制を確立するとともに向こう1

《新三役》
中央執行委員長 吉田祥司
中央執行副委員長 鎗光俊勝
書記長 大久保浩

貨物鉄道労働第41回定期全国大会 危険事象続発に警鐘 安全の確立が組織拡大の礎

貨物鉄道労働第41回定期大会は7月14日、新大阪丸ビルにおいて第41回定期全国大会を開催し、2025年度の運動方針を満場一致で決定した。述べて。政策課題のうち線路使用料に関するJR各社との協定更新についても取り組む決意を示し、人口減少下において、臨機応変に変わらねばならないと訴えた。本大会では、J

JR西労組は7月16日、福岡市内において第37回定期中央本部大会を開催した。代議員・傍聴など約5000人の参加のもと、2025年度の運動方針を満場一致で決定した。

来賓には、藤田桂三連合福岡会長、古賀栄一福岡県交運労協議長、服部誠太郎福岡県知事、三日月大造滋賀県知事、泉健太JR連合国会議員懇談会副会長、浜野喜史参議院議員などを迎

え、JR連合からは今井事務局長と宮野企画局長が参加した。上村良成中央執行委員長（JR連合会長）は、主催者挨拶で「世界一安全な鉄道」をめざしてきたが、昨今危険な事象が相次いでいる」と

最後に、羽野中央執行委員長が挨拶を述べ、長年にわたりJR西労組運動を牽引してきた上村氏が退任し、羽野中央執行委員長をはじめとする新執行部が選出された。

《新三役》
中央執行委員長 羽野敦之
中央執行副委員長 川原孝義
中央執行副委員長 福本英治
書記長 川端準一

役員紹介



九州旅客鉄道労働組合 (JR九州労組) 中央執行委員 伊東 佑将 さん

私は2012年にJR九州へ入社し、主に工務関係の仕事に携わってまいりました。入社後は保守土木等を学んだ後、建設工事で立体的な工事や単独立体的な工事の建設土木、本社では新駅やバリアフリー計画・設計などを経験しました。2016年 JR連合の仲間皆さんや現地の方の熊本地震発生時には、熊本新幹線

工務所の川内新幹線工務室で地震の対応に携わったことは貴重な経験となっていました。中央執行委員在任中、JR連合が取り組む山梨県早川町の地域活性化ボランティアに参加させていただき、JR連合の仲間皆さんや現地の方と交流を深めることができました。

コスト削減に向けての決意と課題などを述べた。質疑応答では、全地区本部や青年女性委員会の代表から、政策課題の解決、離職防止のための職場の魅力向上、基盤となる組織拡大に関して報告と決意が述べられ、JR連合ならではの活動をアピールし、主体的に行動する必要性を確認した。

また、JR連合からは今井事務局長と宮野企画局長が参加した。上村良成中央執行委員長（JR連合会長）は、主催者挨拶で「世界一安全な鉄道」をめざしてきたが、昨今危険な事象が相次いでいる」と

最後に、羽野中央執行委員長が挨拶を述べ、長年にわたりJR西労組運動を牽引してきた上村氏が退任し、羽野中央執行委員長をはじめとする新執行部が選出された。

《新三役》
中央執行委員長 羽野敦之
中央執行副委員長 川原孝義
中央執行副委員長 福本英治
書記長 川端準一



JR西労組第37回定期中央本部大会